

AD

Requested Patent: JP9301469A  
Title: STORING PACKAGE ;  
Abstracted Patent: JP9301469 ;  
Publication Date: 1997-11-25 ;  
Inventor(s): KONDO AKIRA ;  
Applicant(s): DAINIPPON PRINTING CO LTD ;  
Application Number: JP19960117647 19960513 ;  
Priority Number(s): ;  
IPC Classification: B65D85/57; A61L9/12; A61M21/02 ;  
Equivalents: ;

**ABSTRACT:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a storing package which can be used in a method of medical treatment to relax mind and body without using a method such as dosing. **SOLUTION:** An aromatic wood 5, a nonwoven fabric 7, and a compact disk 9 are put into a case body 3 and a cover 11 is placed on the case body 3 to form a package. A purchaser performs an aroma therapy using fragrance sent from the wood 5 and listen to music for music therapy recorded in the compact disk 9 to effect a music therapy.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-301469

(43)公開日 平成9年(1997)11月25日

(51)Int.Cl. <sup>9</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 85/57			B 6 5 D 85/57	C
A 6 1 L 9/12			A 6 1 L 9/12	
A 6 1 M 21/02			B 6 5 D 85/00	A
// B 6 5 D 85/00			A 6 1 M 21/00	3 2 0

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平8-117647

(22)出願日 平成8年(1996)5月13日

(71)出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72)発明者 近藤 晃

東京都新宿区市谷左内町29-3 株式会社

DNP映像センター内

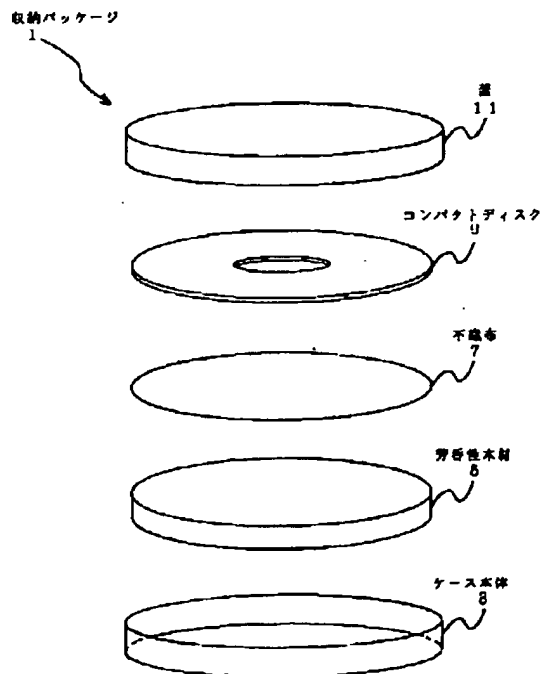
(74)代理人 弁理士 井上 誠一

(54)【発明の名称】 収納パッケージ

(57)【要約】

【課題】 投薬等の方法を用いずに心身をリラクゼーションさせるような治療法に用いられる収納パッケージを提供すること。

【解決手段】 ケース本体3内に芳香性木材5、不織布7、コンパクトディスク9を収納し、蓋11をかぶせてパッケージ化する。購入者は芳香性木材5による芳香によりアロマセラピーを行い、コンパクトディスク9に記録された音楽セラピー用の音楽を聴くことにより音楽セラピーを行う。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 音楽セラビ用の音楽および／または映像セラビ用の映像を記録した記録媒体と、

アロマテラビ用の芳香性木材と、  
を収納したことを特徴とする収納パッケージ。

【請求項2】 音楽セラビ用の音楽および／または映像セラビ用の映像を記録した記録媒体をアロマテラビ用の芳香性木材からなるケースで収納したことを特徴とする収納パッケージ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、音楽セラビ、映像セラビ、アロマテラビを同時に行う為に用いられる収納パッケージに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】 昨今、神経症等の治療を行う場合、投薬等の方法を用いずに心身をリラクゼーションさせるような治療法が要望されている。

【0003】 本発明は、このような要望に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、投薬等の方法を用いずに心身をリラクゼーションさせるような治療法に用いられる収納パッケージを提供することにある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 前述した目的を達成するために第1の発明は、音楽セラビ用の音楽および／または映像セラビ用の映像を記録した記録媒体と、アロマテラビ用の芳香性木材と、を収納したことを特徴とする収納パッケージである。

【0005】 また第2の発明は、音楽セラビ用の音楽および／または映像セラビ用の映像を記録した記録媒体をアロマテラビ用の芳香性木材からなるケースで収納したことを特徴とする収納パッケージである。

## 【0006】

【発明の実施の形態】 以下、図面に基づいて本発明の実施の形態を詳細に説明する。図1は、本発明の第1の実施の形態に係る収納パッケージ1の概略構成図である。この収納パッケージ1は、ケース本体3、芳香性木材5、不織布7、コンパクトディスク9、蓋11からなる。ケース本体3は金属製で円筒状であり、底板を有し、上部は開口している。円筒状の芳香性木材5は、アロマテラビ用に用いられ、青森ヒバや桧、柑橘類、ハーブ等からなり、芳香を発する。

【0007】 不織布7はコンパクトディスク9の保護材である。コンパクトディスク9には、音楽セラビ用の音楽が記録される。蓋11は金属製で円筒状であり、下部が開口している。すなわち、ケース本体3に芳香性木材5、不織布7、コンパクトディスク9を収納し、蓋11をケース本体3に被せる。

【0008】 音楽セラビ用の音楽としては、波の音、せ

せらぎの音、野鳥の鳴き声等の自然音や蒸気機関車の汽笛、鐘の音等の人工音やクラシック、ポップス、音楽セラビのために作曲された楽曲等の音楽がある。

【0009】 芳香性木材5は、フィトンチッドを発することによりアロマテラビに用いられる。フィトンチッドを発する木材のうち、ヒバ、ヒノキ、西洋菩提樹等はヒノキチオール、ファルテリールを含み、リラックス用に用いられる。この場合、音楽セラビ用の音楽としては、テンポの速い曲、例えば、モーツァルトの「フィガロの結婚」やストラヴィンスキーの「火の鳥」や、心の平静さを取り戻していくような曲、例えばブラームスの「クラリネット5重奏曲・第2楽章」やチャイコフスキーの「イタリア奇想曲」や、怒りの気持ちを鎮めたいときには、ビゼーの「カルメン組曲」やベルディの歌劇「アイーダ」等を用いる。このとき映像セラビとして、風景、動物、人物等の映像を同時に見るようすれば、更に効果的である。

【0010】 また、芳香性木材5としてセドレンを発するホワイティシダーウッドを含むようなものを用いれば、美しい肌を造ることができる。この場合、音楽セラビとしては、肌が荒れてガサガサしているときはショパンの「別れの曲」やクライスラーの「愛の喜び」等を用い、より美しい肌を造るためにはバッハの「シャコンヌ」やサラサーテの「チゴイネルワイゼン」等を用いる。

【0011】 このような収納パッケージ1を購入した人は、蓋11を開け、芳香性木材5から発する芳香を嗅ぐことによりアロマテラビ（芳香療法）を行う。また、コンパクトディスク9をCDプレーヤーに装着してコンパクトディスク9内に記録された音楽を聞くことにより、音楽セラビ（音楽療法）を行う。更に、映像と音声とを記録したレーザーディスクを収納し、音楽を聞くと同時に前述したような映像を見るようにしてもよい。

【0012】 すなわち、購入者は音楽セラビ、映像セラビ、アロマテラビの効果を一度に得ることができる。なお、ケース本体3内には図示したもの他にウレタンによる緩衝材や説明書等を収納させてもよい。また、ケース本体3、芳香性木材5、蓋11等の形状は円筒状以外に角柱状でもよい。

【0013】 図2は、第2の実施の形態に係る収納パッケージ12の断面図である。この収納パッケージ12は、ケース本体13内にコンパクトディスク19、芳香性木材21、ウレタン等の緩衝材23を収納し、蓋25をかぶせたものである。ケース本体13の底部には、第1隆起部15および第2隆起部17が設けられ、第2隆起部17の径がコンパクトディスク19の内穴の径と等しいので、第2隆起部17がコンパクトディスク19の内穴にはまり、コンパクトディスク19は第1隆起部15上に載置される。この収納パッケージ12においても必要に応じてコンパクトディスク19上に不織布等を載置する。

【0014】コンパクトディスク19には音楽セラビ用の音楽が記録され、芳香性木材21は第1の実施の形態と同様の材料からなる。したがって、購入者は音楽セラビとアロマセラビの効果を一度に得ることができる。

【0015】図3は、第3の実施の形態に係る収納パッケージ30を示す図である。この収納パッケージ30は、凹部33を有するケース本体31の凹部33に芳香性木材37、コンパクトディスク39を収納し、蓋35を閉じるものである。ケース本体31と蓋35は一体化されており、プラスチック等の材料からなる。また、必要に応じて不織布や緩衝材を収納させる。本実施の形態においても、音楽セラビとアロマセラビの効果を一度に得ることができる。

【0016】図4は、第4の実施の形態に係る収納パッケージ41を示す図である。ブック型のケース本体43と蓋45とはプラスチック等からなり、厚みのあるケース本体43の中央部にはコンパクトディスクケース53を収納できる凹部47が形成される。凹部47には更にコンパクトディスクケース53を指で摘んで取り出すための窪み49が設けられる。蓋45には爪51が設けられ、蓋45を図中A方向に回転させてケース本体43に蓋45をかぶせたときに、爪51によってケース本体43と蓋45とが係止される。

【0017】コンパクトディスクケース53は、コンパクトディスク55が販売されるときに用いられる通常のプラスチック製のケースであり、内部にコンパクトディスク55が収納される。ケース本体43の凹部47にコンパクトディスク55が収納されたコンパクトディスクケース53を収納し、板状の芳香性木材57および説明書(図示せず)等を蓋45の内部に収納し、この状態で蓋45をA方向に回転させてケース本体43に蓋45を被せる。本実施の形態においても、音楽セラビとアロマセラビの効果を一度に得ることができる。

【0018】図5は、第5の実施の形態に係る収納パッケージ61を示す図である。厚みのある芳香性木材からなるケース本体63に芳香性木材からなる蓋65がヒンジ67で取り付けられる。ケース本体63には、コンパクトディスクケース73を収納できる凹部68が設けられる。69は、コンパクトディスクケース73を取り出すための窪みである。蓋65には爪71が設けられる。コンパクトディスクケース73には、音楽セラビ用のコンパクトディスク75が収納されている。

【0019】ケース本体63にコンパクトディスクケース73を収納し、蓋65をケース本体63上にかぶせて、爪71によりケース本体63と蓋65とを係止させる。この収納パッケージ61を購入した者は、ケース本体63および蓋65から発する芳香によりアロマセラビの効果を、コンパクトディスク75内に記録された音楽セラビ用の音楽を聴くことにより音楽セラビの効果を、得る。

【0020】図6は、第6の実施の形態に係る収納パッケージ80を示すものである。この収納パッケージ80は、ケース本体81、不織布85、コンパクトディスク87、蓋89からなる。ケース本体81および蓋89は芳香性木材からなる。ケース本体81内に不織布85、コンパクトディスク87を収納させ、蓋89を被せる。ケース本体81および蓋89が芳香を発し、アロマセラビに用いられる。また、コンパクトディスク87には、音楽セラビ用の音楽が記録される。なお、ケース本体81または蓋89の一方を金属あるいはプラスチック等の他の材料としてもよい。本実施の形態においても、音楽セラビとアロマセラビの効果を一度に得ることができる。

【0021】図7は、第7の実施の形態に係る収納パッケージ91を示すものである。芳香性木材からなるケース本体93に芳香性木材からなる蓋95がヒンジ97により取り付けられている。ケース本体93には、コンパクトディスク107等を収納できる円筒状の凹部99が設けられる。101は、コンパクトディスク107等を指で摘み出すための窪みである。また、凹部99には、図2と同様の第1隆起部103、第2隆起部105が設けられる。

【0022】ケース本体93の凹部99にコンパクトディスク107や不織布、緩衝材(図示せず)を収納し、蓋95をケース本体93上に被せる。本実施の形態においても、音楽セラビとアロマセラビの効果を一度に得ることができる。

【0023】なお、前述した各実施の形態において、ケース本体や蓋等の形状は図示されたものに限定されるものではない。また、前述した各実施の形態では、ヒバ、ヒノキ等の木材自身が芳香を発するものであったが、ハーブや果実などから抽出したエッセンシャルオイル(天然植物精油)を浸透させた木材を用いてもよい。また、前述した各実施の形態ではコンパクトディスクを収納するものとしたが、コンパクトディスクに限らず音楽セラビ用の音楽が記録された光磁気ディスク、DVD、カセットテープまたは映像が記録されたレーザーディスク等を収納するようにしてもよい。

【0024】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように本発明によれば、投薬等の方法を用いずに心身をリラクゼーションさせるような治療法に用いられる収納パッケージを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 第1の実施の形態に係る収納パッケージ1の構成図

【図2】 第2の実施の形態に係る収納パッケージ12の断面図

【図3】 第3の実施の形態に係る収納パッケージ30の構成図

【図4】 第4の実施の形態に係る収納パッケージ41の構成図

【図5】 第5の実施の形態に係る収納パッケージ61の断面図

【図6】 第6の実施の形態に係る収納パッケージ80の構成図

【図7】 第7の実施の形態に係る収納パッケージ91の構成図

# 【符号の説明】

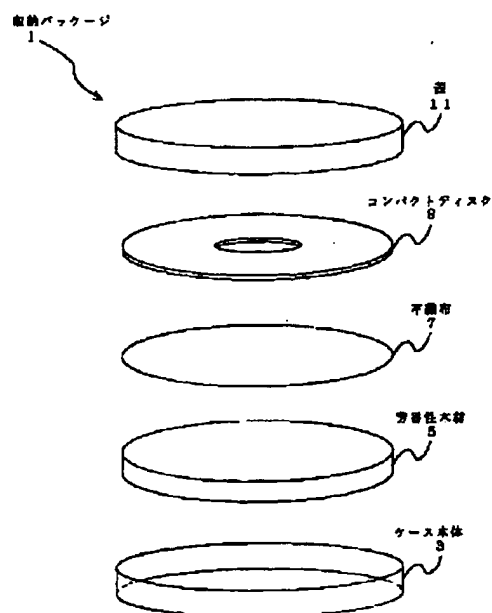
1、12、30、41、61、80、91………収納パッケージ

3、13、31、43、63、81、93………ケース本体

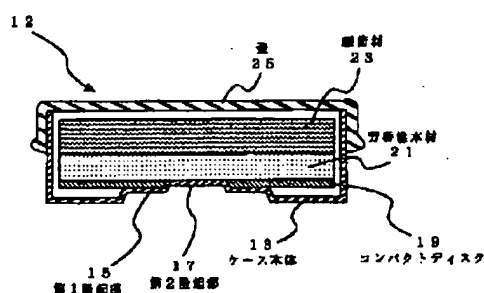
5、21、37、57………芳香性木材

9、19、39、55、75、87、107………コンパクトディスク

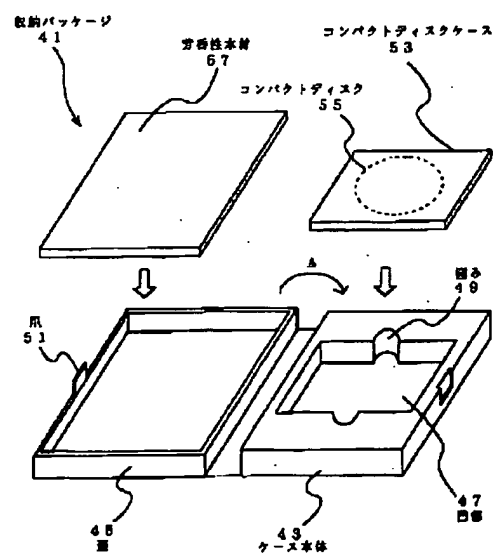
【図1】



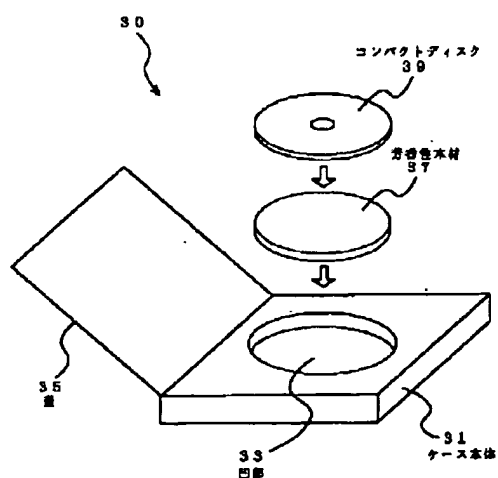
【図2】



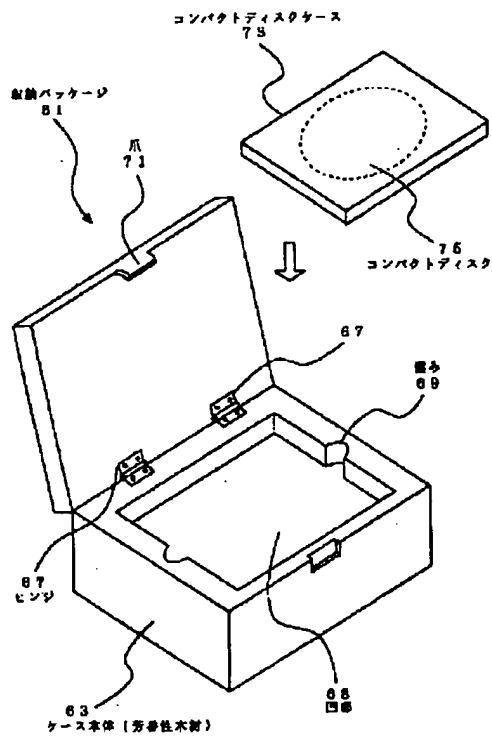
【図4】



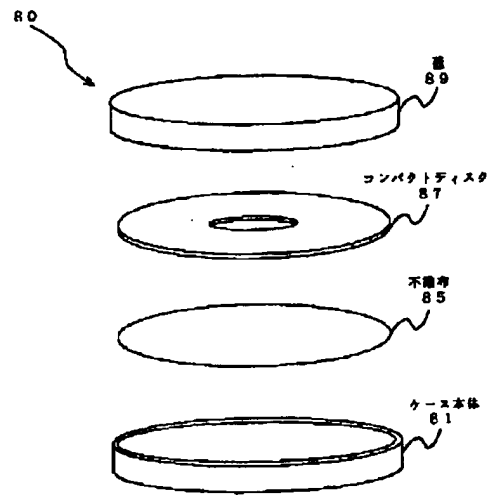
【図3】



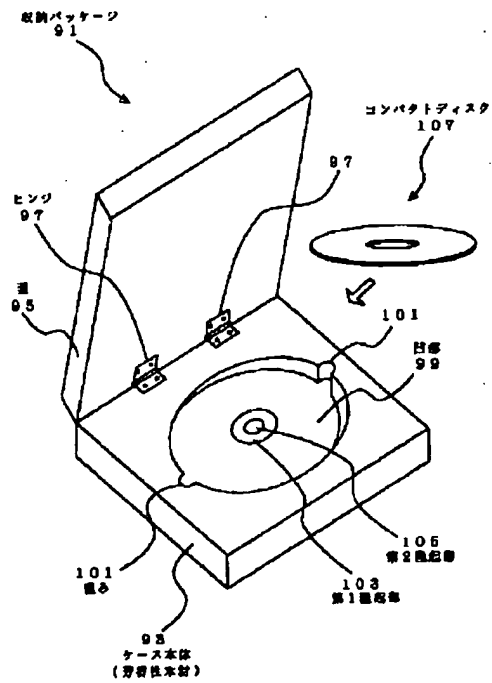
【図5】



【図6】



【図7】



AE

Requested Patent: DE444436C1  
Title: ;  
Abstracted Patent: DE444436 ;  
Publication Date: 1927-05-17 ;  
Inventor(s): ;  
Applicant(s): BBC BROWN BOVERI .CIE ;  
Application Number: DE1926A046773D 19260112 ;  
Priority Number(s): DE1926A046773D 19260112 ;  
IPC Classification: ;  
Equivalents: ;  
ABSTRACT:

DEUTSCHES REICH



AUSGEGEBEN AM  
17. MAI 1927

REICHSPATENTAMT  
**PATENTSCHRIFT**

— № 444 436 —

KLASSE 27d GRUPPE 3

(A 46773 I/27 d)

---

**Aktiengesellschaft Brown, Boveri & Cie in Baden, Schweiz.**

**Quecksilberdampf-Hochvakuumpumpe.**

Patentiert im Deutschen Reiche vom 12. Januar 1926 ab.

Die gebräuchlichen Quecksilberdampf-Hoch-  
vakuum Pumpen nach dem Diffusionsprinzip,  
welche mit Quecksilberdampf-Großgleichrich-  
tern zusammengebaut werden, sollen eine mög-  
5 lichst große Leistung erhalten, damit das  
Entlüften des Gleichrichters nicht zu viel  
Zeit erfordert. Andererseits wird aber die  
Forderung gestellt, daß die Pumpe im Ver-  
hältnis zu dem zu entlüftenden Gefäß keine  
10 übermäßig großen Abmessungen erhält, nicht  
zu viel Platz versperrt und nicht zu teuer  
wird. Deshalb ist man bestrebt, den Wir-  
kungsgrad der Pumpen zu erhöhen. Als Heiz-  
ung kommt praktisch nur die elektrische in

Frage, und zwar bedient man sich ein- oder 15  
angebauter Heizkörper, weil diese ohne Aus-  
einandernehmen der Pumpe leicht auswech-  
selbar sind. Heizkörper mit zylindrischer oder  
kegeliger Heizfläche sind in der Regel nur  
schwer und teuer auswechselbar zu machen. 20  
Sehr zweckmäßig ist es daher, für die Heiz-  
körper allereinfachste Formen zu wählen, wes-  
halb man sie auch bisher als Patronen oder  
Platten ausgebildet hat, wobei die Platten-  
form den Vorzug verdient, weil ihr am besten 25  
ein einfaches Quecksilbergefaß mit großer  
Heizfläche angepaßt werden kann. Würde  
man nun das Siedegefaß als flachen hori-



zontalen Körper unten an die notwendigerweise vertikalachsige Pumpe ansetzen, so nimmt dadurch die Pumpe verhältnismäßig viel Platz in Anspruch.

- 5 Um nun eine Leistungssteigerung der Pumpe ohne Überlastung des Heizkörpers bei einfachster Auswechselbarkeit desselben zu erzielen, wird nach der Erfindung das Siedegefäß der Pumpe als flacher Körper mit zur  
10 Längsachse der Pumpe parallel oder nur wenig geneigt liegenden Heizflächen ausgebildet, die der äußeren Form der Heizplatten angepaßt sind.

- Die Zeichnung veranschaulicht zwei Ausführungsbeispiele für die Erfindung. Darin ist  
15 a der Pumpenraum mit dem Anschluß des zu entlüftenden Gefäßes und dem Anschluß c der Vorvakuumpumpe. Das unten angesetzte, im Schnitt dargestellte Siedegefäß d hat nach  
20 Abb. 1 eine flache Form mit runden Seitenflächen, die aus der Vorderansicht (Abb. 3) erkennbar sind. Wie aus Abb. 1 zu ersehen, liegen die Seitenflächen parallel zur vertikalen Längsachse der Pumpe. Auf ihnen sind  
25 zwei elektrische Heizplatten e befestigt, die ihre Wärme zum größten Teil an das zu ver-

dampfende Quecksilber/ im Innern des Gefäßes d abgeben.

Bei der Ausführungsform nach Abb. 2 zeigt das Siedegefäß d in der Seitenansicht etwas konische Form. Auch ist beispielsweise nur ein einziger Heizkörper e angebracht. Gefäß d mit Heizplatten e ist von einem Schutzmantel g umgeben.

Man erkennt, daß die Wärmeabgabe sehr  
35 günstig, der Platzbedarf gering und die Auswechselung der Heizplatten leicht durchführbar ist. Durch die neue Bauart wird es unter anderem möglich, die Anheizzeit der Pumpe zu vermindern, was für die Inbetrieb-  
40 setzung der Pumpe von großer praktischer Bedeutung ist.

#### PATENTANSPRUCH:

Quecksilberdampf-Hochvakuumpumpe mit  
45 elektrischer Heizung durch Heizplatten, die an dem Quecksilbersiedegefäß anliegen, dadurch gekennzeichnet, daß das Siedegefäß als flacher Körper mit zur Längsachse parallel oder nur wenig geneigt liegenden Heiz-  
50 flächen ausgebildet ist, die der äußeren Form der Heizplatten angepaßt sind.

Abb. 1.

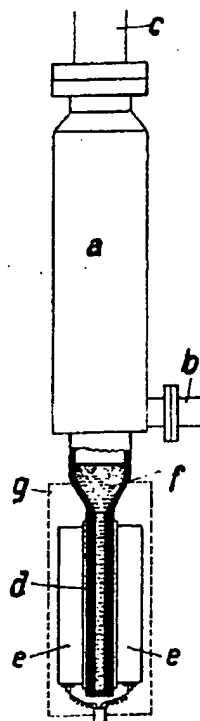


Abb. 2.

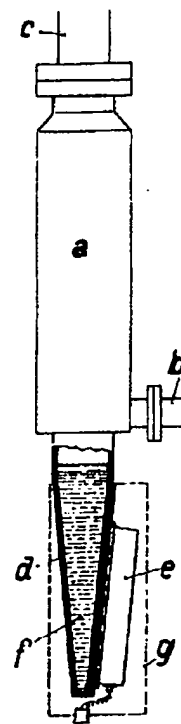


Abb. 3.

